

様式 公共工事目標管理票 平成23年度 公共工事(土木部門)

目標設定段階(当年度当初に記載)				評価段階(次年度に記載)	
区分	環境方針分類	内容	評価指標 (プロジェクト共通)	指標の状況	見直し
公共工事(土木部門)	環境負荷の少ない製品やサービスを利用します	工事ごとの特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意し、可能な限り「札幌市グリーン購入ガイドライン」で定める品目の調達に努める。	特に積極的な使用を推進する3品目(再生加熱アスファルト、再生骨材、混合セメント使用生コンクリート)については、調達実績を把握し、利用促進を図る。		
			建設発生土について、目標とする有効利用率を90%以上とする。		
			建設発生木材について、目標とする再資源化率を95%以上とする。		
	廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化を推進します。	公共工事における建設副産物の再利用、再資源化を推進する。	建設汚泥について、目標とする再資源化率を85%以上とする。		

様式 公共工事目標管理票 平成23年度 公共工事(建築・設備部門)

目標設定段階(当年度当初に記載)				評価段階(次年度に記載)	
区分	環境方針分類	内容	評価指標 (プロジェクト共通)	指標の状況	見直し
公共工事(建築・設備部門)	6 公共工事、委託業務、イベントにおける環境負荷を低減します	公共建築物における環境負荷を低減する	「札幌市公共建築物環境配慮ガイドライン」公共建築物環境配慮チェックリストの点数達成率95%以上		
	3 環境負荷の少ない製品やサービスを利用します	工事ごとの特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意し、可能な限り「札幌市グリーン購入ガイドライン」で定める品目の調達に努める。	特に積極的な使用を推進する5品目(断熱サッシ・ドア、断熱材、照明制御システム、自動水栓、自動洗浄小便器)については、調達実績を把握し、利用促進を図る。		

雪対策部門 取組結果総括表

具体的な取組		指標	目標値	目標年次	実績値(進捗率)	
					H21	H22
1	冬の市民生活ルールの確立	合同パトロールの実施町内会数	255 町内会	H30	175 町内会 (69 %)	222 町内会 (87 %)
2	効果的・効率的な除排雪による円滑な冬期道路交通の確保	バスレーンの排雪回数を3回とする延長	38 km		0 km (0 %)	0 km (0 %)
		狭小バス路線の運搬排雪延長及び回数	160 km・2回		37 km・2回 (23 %)	25 km・2回 (16 %)
3	ロードヒーティングに替わる路面管理手法への転換	ロードヒーティングの停止箇所数	95 箇所		12 箇所 (13 %)	25 箇所 (26 %)
4	運搬排雪量の抑制	抑制した運搬排雪量	幹線道路 59 万m ³ 生活道路 65 万m ³		27 万m ³ (46 %) 36 万m ³ (55 %)	35 万m ³ (59%) 78 万m ³ (120 %)
		雪置き場として活用する公園の総数	1,000 箇所		545 箇所 (55 %)	641 箇所 (64 %)
		雪置き場として活用する小学校グラウンドの総数	50 校		33 校 (66 %)	30 校 (60 %)
5	低公害除雪機械の配備	低公害除雪機械の保有台数(累計)	430 台		220 台 (48 %)	262 台 (61%)